

## 03 巻頭言

### 介護予防と多様な通いの場:その概念と類型化 藤原 佳典 (ふじわら・よしのり)

東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム 研究部長  
東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター センター長  
北海道大学医学部卒、京都大学大学院医学研究科修了(医学博士)。京都大学病院老年科などを経て、2000年東京都老人総合研究所研究員、2011年より現職。多世代共生の地域づくりの視点から高齢者の社会参加と介護予防について実践的研究を進めている。内閣府高齢社会対策の基本的な在り方等に関する検討会委員、厚生労働省一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会構成員他、多数の自治体の審議会座長を歴任。ダイヤ財団評議員。

## 04 フォーカス高齢社会

### 在宅で亡くなるということ

二宮 彩子 (にのみや・あやこ)

— 訪問介護員 (ホームヘルパー) と看取りケア —

城西国際大学 看護学部 看護学科 教授

東京医科歯科大学大学院保健衛生学専攻(地域看護学)修了。博士(看護学)。東京医科歯科大学医学部附属病院看護師、訪問看護ステーションまごころ(江戸川区)訪問看護師、東京医科歯科大学助教、文京学院大学准教授等、ダイヤ高齢社会研究財団研究員を経て、2021年より現職。専門は高齢者看護学、基礎看護学、研究テーマは在宅看取り、在宅療養者の孤独感やうつ症状等。ダイヤ財団客員研究員。

## 08 Dia Report

### 想定寿命80歳で老後資金は大丈夫か

森 義博 (もり・よしひろ)

— 「50代・60代の老後資金等に関する調査」結果より —

ダイヤ高齢社会研究財団 企画調査部長

一橋大学経済学部卒。1981年明治生命(当時)入社。2001年から同グループの研究所で少子高齢化問題、介護保険制度等を研究後、2015年から当財団。著作は「人生100年時代の老後資金準備」(本誌通巻101号)、「就労者にとっての育児と介護」(日本FP協会『FPジャーナル』2021年4月号)等。

## 12 財団研究紹介

### 高齢者におけるウェアラブル端末の活用可能性

佐々木 晶世 (ささき・あきよ)

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 博士研究員

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻卒。横浜市立大学大学院医科学研究科修了(医学博士)。東京医科歯科大学助教、横浜市立大学助教/講師等を経て、2022年4月より現職。横浜市立大学客員講師。財団では、介護QI事業を担当。科学研究費「ICTを活用した女性介護者の健康支援に関する研究」など高齢者の健康、介護予防について研究を行っている。

## 14 Dia Information

表紙撮影：吉羽健二郎氏「真岡鐵道の鉄橋と気動車(栃木県益子市小貝川河川敷)」(2018年10月撮影)

※吉羽氏は、千葉県我孫子市で写真愛好家を対象に「448SCHOOL」という写真教室をご夫婦で運営されています。